

ジャンボタニシの発生が今年も確認され、発生圃場も多くなってきています。

静岡県中部や西部においても、暖冬の影響で初期に見られるジャンボタニシの大きさが例年より大きく、食害被害が拡大しているという話も聞かれます。

自身の圃場に発生がないかを確認の上、対策を検討下さい。

<ジャンボタニシの特徴>

- ・主に出たばかりの若い、柔らかい草を好んで食す。
- ・成貝は2.5～3.0 cm程度の大きさになると産卵を始める。

スクミリンゴガイ
(ジャンボタニシ)



卵塊 (蛍光ピンク)



水田内での姿



<対策>

薬剤による防除

- ・スクミノン粒剤 … 1～4 kg/10 a 圃場に均一に散布。 2,970円(込)/2kg
3～5 cm程度湛水状態で、散布後7日間は落水しない。
水田以外には使用しない。

捕獲による防除

- ・ペットボトルの上部1/3程度を切り取り、ネットを付けて中に入ったジャンボタニシが出ないようにする。餌は米ぬかやタケノコなど



ポイント

米ぬかは、少量の水で固めておかないと、沈める際に米ぬかが拡散してしまいます。
※ペットボトルを使用した捕獲試験の結果は別紙

※捕獲したジャンボタニシは必ず殺処分して下さい。

ペットボトルを使用した捕殺試験

圃場へ設置

①2ℓペット



②500mlのペットボトル

500mlのペットボトルの側面に穴を空けただけの物に米ぬかを入れて2ヶ所に設置。

設置はペットボトルの半分を土に埋め込む形で設置。(浮遊防止)
※設置時はキャップが閉まっています。



1日後



①2ℓのペットボトル … 20匹 捕獲

②500mlのペットボトルⅠ … 21匹 捕獲

500mlのペットボトルⅡ… 10匹 捕獲

500ml ペットボトルの捕獲量は平均して15匹、捕獲量の差は設置場所により大きく異なると考えられる。

結果:1日で50匹のジャンボタニシを捕獲する事が出来ました。

設置の際に注意した事

- ・仕掛けが流されないように固定する。
- ・ピンクの卵が見えた畔壁に設置。

試験で分かった事

- ・餌の米ぬかは、沈める際に拡散するが、捕獲に影響は無いと思われる。少量の水で固めた方が拡散は少ない。
- ・捕獲効率では卵付近の設置が効率が良いと思われる。
- ・今回、500mlのペットボトルでも効果的な捕獲量が確認されたが、設置時間が長い場合には、せっかく捕獲器に入ったジャンボタニシも逃げてしまう可能性がある。正確な設置時間は今回の試験では分からなかったが、設置後1日程度で確認をして頂きたい。